

Ⅱ. ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学への教員派遣事業

1. 派遣教員、奈良女子大学研修生

派遣教員	鈴木 広光	奈良女子大学大学院人文科学系言語文化学領域 教授
研修生	鈴木 小春	奈良女子大学人間文化研究科博士後期課程 1 回生

2. 派遣期間

12月14日（月）関空発ーハノイ着

12月15日（火）～12月18日（金）講義

12月19日（土）ハノイ発ー関空着

3. 事業概要

- ① 日本語文化集中講義 12月14日（月）～18日（金）計15コマ（15時間）
- ② 学生交流会（書道） 12月17日（木）15:30～17:00
- ③ 理系女性教育開発共同機構アンケート実施 30名
- ④ ベトナムにおける中等、高等教育数学教科書の調査収集

日本語文化集中講義概要

テーマ 「日本語の日本語らしさ」

人文社会科学大学では、2年から5年生の学部生を対象に「日本語の日本語らしさ」というテーマで講義をした。内容は、（1）会話、文章、漫画などにおいて微妙なニュアンスを伝えるのに頻用されるにもかかわらず、母語話者以外はただちにニュアンスを感得しづらいために言語教育のメソッドにはのりにくいオノマトペと日本人が感じる音の印象について、（2）会話で頻出する略語や造語はどのように作られるのか、（3）日本語の会話では「私」や「あなた」のような一人称、二人称がほとんど使用されないがそれはなぜか、（4）日本語の敬語はどのようなしくみで運用されているのかの4つである。いずれも、「日本語らしさ」を特徴づけるものであるが、かならずしもベトナムにおける日本語学習メソッドできちんと扱われていないが、日本語話者との会話などには必須事項である。これらを学部生でも理解できるように、言語理論そのものには深入りしないように配慮して講義を行った。

4. 事業評価

4-1 講義について

4年、5年生は8名から15名程度、2年生、3年生はそれぞれ30名が受講した。単位に関わる授業ではないので、正規の授業の空き時間に受講するという形になり、受講者数は一定しなかった。そのため、各時間で一項目の話を終えるように心がけた。学部生で日本語学習の時間が短いこと、日本語習得のための学科ではないことから、日本語のみで講義を行うことは困難で、ゼン講師、ハー講師および日本語に堪能な4年生学生によるベトナム語通訳をはさみながら、授業を進めるという形態をとった。このような形態になることは予想していなかったが、通訳の助けもあって日本語の特徴について興味を持ってもらえたようである。

ただし、反省もあった。まず予め、学生の日本語能力を把握していれば、もう少し言語そのものよりも、文化的な方面の話題を選んで話をすることができたと思う。言語能力が低い学生に「言語そのもの」について説明することは非情な困難を伴うからである。また人文社会科学大学の学生の志向として、言語教育よりも言語文化のほうに関心が強いようであった。日本語能力が必ずしも高くなくても、日本文化に関する文章はよく読みこなしているようであり、その辺りの事情をよく把握しておけば、さらに満足度の高い講義を行うことが出来たのではないかと考える。今後、事前の打ち合わせを綿密に行っておけば、教員派遣も有意義なものになるだろう。

4-2 学生文化交流について

研修生の鈴木小春さんによる書道の紹介と、学生のお習字体験は大変好評であった。学生は好きな漢字を予め選んでおき、それを何度か練習して清書を仕上げたのだが、初めての体験と出来上がりに大変満足していた。鈴木さんが事前に用意してくれた筆は学生にプレゼントされた。日本文化（固有ではないが）の一端に触れることができるこのような試みを今後も継続していくことが肝要であろうと思う。

4-3 理系教育アンケート

人文社会科学大学なので理系教育に関するアンケートにはとまどいを感じていたようであるが、真摯に回答してくれた。

4-4 中等・高等教育数学教科書の収集

ゼン講師の尽力により、多数の教科書を収集することができた。感謝申し上げる。

4-5 同行した研修生による評価

大学院 人間文化研究科 博士後期課程 比較文化学専攻 1回生 鈴木小春

2015年12月14日～19日まで、ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学東洋学部日本学科に派遣され、鈴木広光先生の集中講義の補助ならびに学生交流会の運営、奈良女子大学の紹介を行ってきました。

参加学生は2回生～4回生と幅広く、日本語能力にかなりの差があったため、適宜奈良女のOGでいらっしゃるGiang先生、Ha先生にベトナム語で解説を加えてもらいながら授業が進められました。また、他の授業との兼ね合いで、毎日受講者の顔ぶれや人数が違ったため、その都度学生さん達の希望を聞きながら柔軟に授業内容が決められました。主に日本語のオノマトペと敬語について、事例を交えて背景やシステムといったところから丁寧に解説され、私は日本語母語話者としての運用の感覚を述べるなどして補助しました。特に、将来日本やベトナムにある日本企業の職場で働きたいと考えている学生さん達にとって、敬語を分かりやすく整理して説明されたのは大変刺激的だったようで、授業中意見が飛び交ったり、休み時間にも質問をする学生さんがいたのが印象的でした。

17日には授業後に学生交流会が行われ、そこでは私が書道を教えました。はじめに書道の歴史や道具の名前、使い方を説明し、つづいてあらかじめ用意しておいた「永」字のお手本を配り、私が実際に書いて見せたり学生さんの筆と一緒に持ったりして練習しました。「永」字を選んだ理由は、楷書を書く際使用する全ての技法が入っており、初心者の練習に適しているためです。「永」字に慣れた頃、各々の好きな文字を教えてください、私の方でお手本を書いて、それを練習して清書することにしました。練習では白い半紙を用いたのですが、記念に残るように本番では淡い桃色や若草色の地に、金箔や植物の柄が施された美しい料紙を用意し、好きな物を選んでもらうことにしました。私は幼稚園から書道をしていたのですが、人に教えるのは今回が初めてで、はじめどのように教えるべきか悩み、盛り上がるか不安でしたが、口頭説明しながら実際に書いたり、一緒に筆を持って書いたりするうちに次第に打ち解けて、最後にはみなさん笑顔で自分の書いた料紙を私に持ってきて「どうですか?」「頑張りました!」と嬉しそうに言ってくれたので良かったです。書道は単に字をきれいに書くというのではなく、背筋が自然と伸びるような程よい緊張感、墨の独特の匂い、筆が紙の上を滑る音、字と紙の一体感など、あらゆる器官を使って全身で楽しむものであることを、少しでも伝えられたかと思います。

そして最終講義の後には、パワーポイントを使って奈良女子大学の紹介を行いました。みなさん熱心に聞いてくれ、何人か興味を持ってホームページのアドレスをメモしていたので、嬉しく思いました。これを機に少しでも日本への留学、なかでも奈良女子大学への興味を持っていただけたなら幸いです。

最後になりましたが、交流会と大学の紹介の際に通訳をしたりパソコン等の提供を下さったGiang先生やHa先生をはじめ、様々な手続きでお世話になった国際交流センターの先生方へ、この場をお借りして御礼申し上げます。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



講義風景



書道の様子

(参考資料)

ベトナム国家大学ハノイ 人文社会科学大学 集中講義 担当 鈴木広光 (奈良女子大学)

2015.12.15-18

日本語の日本語らしさ

1. 日本語はオノマトペであふれている



佐々木倫子『動物のお医者さん 2』白泉社文庫、1995年
漫画の中のオノマトペ そのニュアンスは？

1.1 日本語オノマトペの特徴

1.1.1 笑った様子を表現するオノマトペはこんなにある

あはっ いひっ うふっ えへっ くっ うひゃっ うひょっ
あはは いひひ うふふ えへへ がはは きやはは わはは うひゃひゃ うひょひょ
くすっ くすり にこっ にこり にたっ にたり にやっ にやり
あはあは いひいひ うふうふ えへえへ からから がはがは くすくす くっくっ
けたけた げたげた けらけら げらげら にこにこ にやにや にたにた へらへら
うはうは うひゃうひゃ うひょうひょ

まだあるかも

1.1.2 日本語は動詞の数が少ない

(和語) わらう (ほほえむ) (漢語) 失笑する 爆笑する 文章語では漢語で
「わらう」一語でも、オノマトペとの併用で色々な笑い方を表現できる。

1.1.3 オノマトペは動詞の語構成

(一スル) にこにこする、にたにたする、へらへらする
(一ツク) にやつく

1.2 オノマトペの構成法

1.2.1 語構成 基本「パラ」本のページをめくるとき、など

小野正弘 (2009) 『オノマトペがあるから日本語は楽しい』(平凡社新書)

- a. 「ッ」(語末を声門閉鎖させる) … 非常に瞬間的な区切りがつくというニュアンス。
- b. 「リ」…一連の動作や状況をひとまとまりのものとして表現して、落ち着いたニュアンス。
- c. 「ン」…音や動作・状況が終わりはするが、その結果や余韻が残るというニュアンス。
- d. 基本の繰り返し…今まさに続いているというニュアンス。

d.の繰り返しはあっても、a.b.c.がないものはオノマトペに認定できるか?

→ うきうき(浮き) つやつや(艶) はオノマトペではなく、畳語と呼ぶ方が適切。
しかし、オノマトペのように使用することで、その様子をより実感を込めて表現できる。

1.2.2 清濁の分化 パラ バラ ハラ

三分化

	ヒラヒラ	ヒリヒリ	フリフリ		ヘラヘラ		ホロホロ
パリパリ	ピラピラ	ピリピリ	プリプリ	プルプル	ペラペラ	ポリポリ	ポロポロ
バリバリ	ビラビラ	ビリビリ	ブリブリ	ブルブル	ベラベラ	ボリボリ	ボロボロ

1.2.3 動詞の派生

- スル いらいらする、うはうはする、うるうるする、おろおろする …
- ツク むかつく、いらつく、ばさつく、べたつく、がたつく、ぐらつく、いちゃつく、ちらつく、うろつく、だぶつく、ざわつく …
- メク きら ひら

1.3 音の印象とオノマトペ 特に濁音の印象について

1.3.1 音の象徴性について

① 母音の象徴性—その普遍的な性格（音そのものの音色）

- ・現代標準日本語の母音を例に説明

② 子音の象徴性 普遍的か？

日本人の女の子の名前 子音、母音の選び方に特徴はないか？

男の子						女の子					
順位	名前	主な読み	人数	昨年順位	変動	順位	名前	主な読み	人数	昨年順位	変動
1	悠真	ゆうま	66	1	→	1	葵	あおい	86	4	↑
2	湊	みなと	57	8	↑	2	結菜	ゆいな	69	3	↑
3	蓮	れん	53	2	↓	3	凛	りん	62	7	↑
4	陽向	ひなた	49	21	↑	3	結愛	ゆあ	62	2	↓
4	大和	やまと	49	11	↑	5	陽葵	ひまり	56	10	↑
6	悠人	ゆうと	48	2	↓	6	結衣	ゆい	53	6	→
6	大翔	ひろと	48	4	↓	7	陽菜	ひな	52	1	↓
8	颯真	そうま	47	5	↓	8	さくら	さくら	45	5	↓
9	陽翔	はると	46	6	↓	8	芽生	めい	45	27	↑
10	朝陽	あさひ	45	11	↑	10	咲良	さくら	43	49	↑

2015年 ベネッセ調べ

③ 日本語だけの特徴 ジル型動詞 オノマトペ的語構成

よじる ねじる にじり寄る ほじる いじる なじる ねじる かじる

1.3.2 日本語の語頭濁音

① 語頭濁音の印象

ドス (の効いた声) どつく ビンタ 毒 食欲 貧乏

② 語頭濁音の漢語や外来語はどうか？

独立 独学 美人

ドア ドイツ ドリンク ビューティフル

和語 がる ぐる げる ゲロ (嘔吐) ごねる ざまあ見ろ じじい ずるい
だます でまかせ ばばあ びり ぶんなぐる べらぼう ぼける

漢語 学問 銀色 芸術 自信 全部 続行 電話 物理学 勉強 貿易

外来語

③ 濁音は「濁った」音？

1.3.3 濁音語の階層性

日本語の語彙の多層性の面から濁音語を分析すると以下のようなになる。

ただし、下記の分類は便宜的なもので截然と分けることが困難な場合もある。

例) 漢語か否か? 「ぜに」－漢語「銭セン」 小銭 (コゼニ)

「ずさん」－漢語「杜撰」 「砂利」－和語「さざれ (いし)」 > 「ざれ (いし)」

(上層) 漢語・外来語 外国、ガール、義務、グリーン、バカンス等

(中層) 和語 中立 抱く、誰、出る (出す)、ド系指示語、薔薇
有標 (marked) → (4) でくわしく。

(下層) 音象徴語 (オノマトペなど)

1.3.4 特有の表現価値を有する＝有標 (marked) 和語

音の表現価値は、① (小) から⑤ (大) へ

① 生物名 昆虫「ぶよ」「だに」など 魚「ぼら」「ぶり」「べら」など

② 類義語の存在によって有標性が明確なもの

大きいーデカイ、した (舌) ーベロ、みぞ (溝) ードブ

- ③ 強調形 さまーザマ、から（柄）＞ガラ、こねる＞ゴネル、ほける＞ボケル
ふれる（振れる）＞ブレル（現代語では音象徴と関連している＝ブレブレ）
- ④ 蔑視語 がにまた、どもる びっこ
- ⑤ オノマトペとの関連性 ズルイ（ズルズル）、ゲロ（嘔吐）、ドロ（泥）

以上の濁音語はその生々しさゆえに、音象徴と同じように、中立性を求められる硬い文章では使用されにくい。その意味で真に口語的表現である。下層（基層といった方が適切か？）の音象徴語はその生々しさを和語に供給し続けてきたともいえる。

1.3.5 濁音効果の拡大 — 漢語への波及

- ① 爆弾—バクダン、貧乏—ビンボー、餓鬼—ガキ 毒—毒々しい（音象徴的）
- ② 銭（セン）—ゼニ、食欲（トンヨク）—ドンヨク 穀つぶし（ゴクツブシ）
- ③ 鈍（ドン） 造語「鈍行」⇔「急行」
「ドンくさい」の「ドン」が「鈍」かは不明（「ドあほう」の「ド」か？）だが、この漢字を宛てていることに注目。

1.3.6 中立的な濁音語をさかのぼる

抱く（いだく）、出る（いづ）、ド系指示語（イザー）、バラ（いばら）、ざる

- ① 『日葡辞書』の記述から

Daqi, u, aita. Idaqi,u という方がまさる。

De, zzuru, eta（出、づる、でた）.Ide,izzuru という方がまさる。

Dono fito naritomo（どの人なりとも）.Izzureno fitonaritomo という方がまさる。

* Docoに「～という方がまさる」の注記なし。Izzucoに「詩歌語」の注記あり。

- ② 「ざる」の古形 「伊佐留」（昌住撰『新撰字鏡』卷八竹部）→「いざる」だった

- ③ たれ＞だれ 「どれ」への類推。

「誰（たれ）というべきを、だれと、たもじを濁りていうこと如何」（安原貞室『かたこと』）

『日葡辞書』に Dare はなく、Tare のみ。

1.3.7 結論「和語は原則として語頭に濁音が立たなかった」ということ

- ① 本当に濁音語はなかったのか？—無いことの証明は困難（不可能）。ただし、特有の表現価値を持たない中立の濁音語はなかったと考えても問題ないであろう。

- ② この原則があるからこそ、語頭の濁音は表現的＝有標の効果を発揮したといえる。
 ③ この原則は「連濁」とも深く関わる。→「連濁」の話はこの後で。

2. 日本語の造語法 複合語と略語はどう作られる？

例) 某牛井屋さんでの注文「つゆだく」 「つゆ+たくさん」または「つゆだくだく」
 「つゆ+たくさん」だとしたら、なぜタはダになっているのか？

2.1 連濁

2.1.1 連濁は音声現象ではない。

wild+cat → ×wildgat mountain+top → ×mountain^dop

英語における無声／有聲の交替 knife/knives (f/v) 極めて部分的
 → 無声子音が発音上のしくみからひとりでに有声化するのではない。
 音声学的に説明できる、普遍的なことではない。＝何か特別な役割を持っている。

2.1.2 複合指標としての連濁

① 複合指標とは？

母音交替による複合指標 アメ+モリ → ア^マモリ、フネ+ノリ → フ^ナノリ
 ミ(水)+ノ+ト(門) → ミ^ナト
 子音の挿入による複合指標 ハル+アメ → ハル^サメ(秋雨、小雨、氷雨)
 複合指標としての音便 ツキ+タチ → ツイタチ(築垣、透垣)

注意 ・ 複合指標は規則性が見出しがたい。(大雨、長雨)

- ・ 過去の日本語で行われた複合語の造語法が現代日本語では行われず、複合語のみが記憶されている場合が多い。

② 複合指標としての連濁

連濁はアクセントに次いで、最も生産的な複合指標である。

アクセント ユキ+ヤマ → ユキヤマ ○●+○● → ○●●●

*連濁は起こる場合と起こらない場合があるが、アクセントは必ず複合指標としての機能を果たす！

オトナ+カイ → オトナガイ ヒト+カイ → ヒトカイ
 ○●●+○● → ○●●●● ○●+○● → ○●●●●

2.1.3 「和語の語頭には濁音が立たない」という原則と連濁

和語の頭音法則は、連濁が複合指標であること的前提である。

- ① ヤキ+「サカナ」 → ヤキ「ザカナ」
 <A>+<和語 B>の、Bの語頭が必ず清音だから、濁音への交替が複合指標として意味を持つ。
- ② シダレザクラ → シダレ+サクラ
 「何々ザクラ」と聞いて、すぐに「サクラ」に還元できるのはなぜか？

一般化すると「複合語の下位成分が濁音に始まり、それが単独に用いられない語形であるときは、その最初の音節を、それに対応する清音になおしてもとの語形を復元し、その意味を理解する」ということ。→ 和語の語頭には濁音が立たないという原則がそれを可能にしている。

2.1.4 連濁の条件

- ① 「起こる条件」ははっきりしない。
 若竹(ワカタケ)－篠竹(シノダケ) 椎茸(シイタケ)－松茸(マツダケ>マツタケ)
 白玉(シラタマ)－赤玉(アカダマ) 白髪(シラガ)－黒髪(クロカミ)

② 連濁を起こしにくい条件

複合語の下位成分(「春風」なら「風」)の第二拍にすでに濁音がある時、またはその後の拍の何れか(「荒稼ぎ」ならばカセギのギ)に濁音があるときには、連濁を起こさない。
 例) 旅、髯、首、言葉、つなぎ、運び 等々

→和語における濁音分布の制約 ①語頭に立たない。②単純語中に共存しない。

連濁の複合指標という機能は、濁音に関わるこの二つの制約が不可欠である。

アキ+カゼ→*アキガゼ 濁音が並立することで、「カ」が「ガ」に交替したことの「有

難み」が薄くなる。

2.2 略語 省略と造語 日常会話は略語だらけ！

2.2.1 略語のいろいろ

スト	アニメ	イントロ
きしよい	きもい	むずい
アキバ	ハマ	ヅカ
ヤク（薬）	ブツ（物）	サツ（察）
おでん	おひや	おかず

2.2.2 歴史的伝統 対象物を直接指して言うのを避ける

① 女房詞「もじことば」 ひもじい しゃもじ

② 「おー」

・「おひや」の意味は？ どんな時に使われるのか？

・「おかず」の語源

・「おなら」「おしっこ」「おねしょ」

③ 隠語の世界 直接言うのを避ける タネ→ネタ かす→すか

デカ（刑事 和服の各袖巡查） ムショ（刑務所） ヤク（麻薬）

2.2.3 定着した（定着しつつある）略語

さぼる じこる こくる やじる あじる ばくる（捕まえる、盗作する）
きもい きしよい けばい むさい めんどい うつとい グロい エロい

2.2.4 英語の略語

ad(vertisement) photo(graph) fan(atic) memo(random) lab(oratory)
champ(ion) info(mation) exam(ination) mic(rophone) math(ematics)
(tele)phone (air)plane (news)paper

2.2.5 略語

2 モーラの略語

「アジ」「アナ」「アポ」「アマ」「エコ」「オケ」「オペ」「ガチ」「ギブ」「キャバ」
「キャミ」「キャラ」「ギャラ」「コネ」「コラ」「スレ」「チア」「チャリ」「チョコ」
「デマ」「デモ」「デリ」「トピ」「ナル」「ネガ」「ネゴ」「ヒス」「ビル」「フェス」
「フェチ」「ブラ」「プロ」「ベア」「ペド」「ヘリ」「ヘル」「ポジ」「マジ」「マス」
「ムショ」「メット」「ラボ」「ルポ」「レク」「レジ」「ロス」「ロケ」

3 モーラの略語

アクセント 頭高型

「アイス」「アプリ」「アロハ」「アロマ」「安保」「エステ」「エレキ」「エンタ」
「オート」「オリコ」「オルグ」「海保」「カイロ」「カンパ」「簡保」「ケンタ」
「コラボ」「コンパ」「コンビ」「コンピ」「コンペ」「コンポ」「サイケ」「サプリ」
「サンタ」「シンセ」「シンパ」「セレブ」「スープ」「ソフト」「ソ連」「損保」
「ダンク」「テクノ」「テレカ」「テレビ」「ドンキ」「ニトロ」「パーマ」「バスケ」
「パンク」「パンフ」「プリマ」「ベガス」「ボカリ」「メタボ」「リニア」「ローテ」
「ワンピ」 → 特徴は？

アクセント 平板型

「アキバ」「アコギ」「アルミ」「アンプ」「塩ビ」「ガムテ」「空メ」「ガレキ」
「コピペ」「サテン」「スタバ」「スノボ」「スパボ」「スマホ」「地デジ」「デコメ」
「デノミ」「デフレ」「ネット」「ネトゲ」「バイト」「日サロ」「ブクロ」「フリマ」
「フリメ」「ブログ」「ボカロ」「メアド」 → 特徴は？

アクセント 両方

「アニメ」「オケピ」「コスメ」「コミケ」「サムネ」「ダイヤ」「トレカ」「バイブ」
「プラモ」「プロモ」

4 モーラの略語

前半の4モーラ 「アスパラ」「ハンカチ」「リストラ」「リハビリ」「ケータイ」「スーパー」
複合語の2モーラずつ 「ヘビロテ」「デジカメ」「ファミレス」「エアコン」「パソコン」

3. 会話で「私」が使われないのは、なぜ？

3.1 「私は」の省略か？

- (1) はじめまして。私は鈴木です。どうぞよろしく。
- (2) はじめまして。鈴木です。どうぞよろしく。

課題 (1)と(2)の違いを考えてみよう。

3.2 「は」の機能

- (3) むかしあるところにおじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。

- (4) Q:ここに置いてあったケーキを食ったのは誰だ？

「～は」=既知情報。 疑問詞「誰」=未知。

A:(食ったのは)オレだ。= *オレは食った。旧情報 /オレが食った。新情報

- (5) 太郎は中学生だが、次郎はまだ小学生だ。 モノの対比
- (6) 彼はその本を見はしたが、読みはしなかった。 コトの対比

- (7) なぜ「は」を使うと対比の意味になるのだろうか？

「空が青い」と「空は青い」、「地球が丸い」と「地球は丸い」 どう違う？

[空が青い]コト * [空は青い]コト →「が」は「空」と「青い」が一まとまりであることを示す。「は」によって繋げられる「空」と「青い」は一つのことではない。

3.3 話し手は自分自身を言語化=対象化するか？

- (7) あ、誰もいない。 (8) あ、アタシ以外(のほか)に誰もいない。

気がつく自分だけが取り残されている状況でのひとりごと。事実の描写としては(7)よりも(8)の方が正確であるにもかかわらず、日本語母語話者にとって(8)のほうが不自然。

(9) ここはどこですか？ (10) 私はどこにいますか？ Where am I?

(10)は日本語母語話者にとって不自然。(9)は、話し手＝〈私〉が事態の中において自身の目の前の空間を「見えること」として認識する主観的把握による発話。

3.4 形容詞の人称制限をめぐって

(11) ?私は若い。 / ?あなたは若い。 / 彼は若い (あの人は若いね)。

(12) a. ?私は眠い。 / *あなたは眠い。 / *彼は眠い。

b. *私は眠い? / ?あなたは眠い? / *彼は眠い?

(13) 彼は眠いようだ。 / 眠いらしい。 / 眠そうだ。

属性 (様態・形状を含む) 形容詞 → 人称制限なし。

感情・感覚形容詞 → 人称制限あり。

3.5 話し手のゼロ化

(14) ああ、眠い (眠っ)。 痛い (イタッ!)。 熱い (アツッ!)。 辛い (カラッ!)

(15) 眠い (の)? 痛い (の)? 上昇調イントネーションによる疑問文では二人称代名詞は不要。 → (11)の「?あなたは若い」を含め、聞き手 (あなた) に対しての問題は第2課で取り扱う。

(16) 頭が痛い (背中がかゆい)。 ?私は頭が痛い。 *私の頭が痛い。

(17) 水が飲みたい。 ?私は水が飲みたい。

課題 「私は若い」はそのまま発話すると不自然であるが、ある場面・文脈では自然である。どのような場面・文脈では自然か?

4. 「あなた」はもっと使われない!

4.1 そもそも「あなた」は使いにくい

(1) ?あなたは法律がご専門ですね。 (2) 鈴木さん/先生は法律がご専門ですね。

「現在では、年齢や立場が同等、あるいは下位にある人に対して使うことが一般的になっており、上位者に対して用いにくくなっている。」

「相手の名前を示さずに呼ぶことで、中立的な表現となる反面、やや冷たい響きが感じられる。」(文化庁審議会答申・敬語の指針: 2007)

→「あなた」「きみ」といった二人称代名詞を使うことはほとんどない。「あなた」は夫婦・恋人間でも女性から男性に対して使われることがある。「きみ」はふつうの会話のなかにほとんど登場しない。小説の会話文やドラマのせりふで使用されることがある程度。

→「あなた」「きみ」「おまえ」など二人称のもつニュアンスは？

名前や役職などを知らない相手には、「あなた」ではなく、下記の方法が推奨される。

- (3) 雨の中、よくいらっしゃいました。 → 聞き手の行動に対して敬語を使用する。
反例 雨の中、よく来たね (来てくれたね)。 → 敬語使用は必須ではない。
- (4) 教えてくれてありがとう。 → 話し手の視点 (=聞き手との関係) を明示する。

4.2 聞き手のゼロ化

課題 (5)~(7)について、「あなたは」の有無により文の意味は異なるか？異なるとしたら、どう違っているか？

- (5) 立ってください。 / あなたは立ってください。
(6) 毎日、日本語を勉強しますか？ / あなたは毎日、日本語を勉強しますか？
(7) お元気ですか？ / あなたはお元気ですか？

- (8) φ / あなた / 鈴木さん、ちゃんと掃除しなさい。(命令)
(9) φ / あなた / 鈴木さん、こっちへ来てよ。(依頼)
(10) φ / あなた / 鈴木さん、そろそろ出かけましょう。(勧誘)
(11) φ / あなた / 鈴木さん、来週パーティに出る？(問いかけ)

(8)~(11)は聞き手の行動への敬語や視点の明示はなくても、聞き手は自分に対する〈命令・依頼・勧誘・問いかけ〉であることを理解できる。話し手と聞き手は会話の当事者として、常に潜在的な主題で、実際の会話の話題にのぼっていなくても、会話の主題であったかのような性格を持つ。逆に聞き手を選択して、他者と対比したりする必要がある場合は言語化(あなた / 鈴木さん)される。→効果的。

4.3 名前と身分呼称

母親

- (12) 母親 : [自分の子に]そんなに泣いたらお母さんも困るの。 → 一人称
(13) 子 : [自分の母親に]お母さんのカレー、大好き。 → 二人称
(14) 他人 : [幼い子に]あぶないよ。ちゃんとお母さんと手をつなぎなさい。 → 三人称

先生

- (15) 先生：[生徒に]先生は今いそがしいんだよ。
- (16) 学生：[教師に]先生は明日大学へいらっしゃいますか？
- (17) 学生：[クラスメートに]先生はちゃんと指導してくれる？

名前

- (18) 本人：その仕事ならこの鈴木に任せてください。
- (19) [山田さんに]山田さんも明日一緒に行ってくれるよね。
- (20) [鈴木さんに]山田さんも明日一緒に行ってくれるよね。

4.4 「あなた」の不特定性

あなたが積極的に用いられる場合

- (21) あなたのご職業は何ですか。 （アンケート用紙にある質問文）
- (22) あなたが選ぶカー・オブ・ザ・イヤー （自動車賞の名称）
- (23) あなたがいてくれたから （歌の題名）

「あなた」が特定の話し手が特定の聞き手に向けて発話したのではなく、不特定に受け手に向けて積極的に用いられるのはなぜか？

ヒント なぜふつうの会話では「あなた」が用いられにくいのかを考えよう。

5. 敬語のしくみ 文化庁 2007 年報告「敬語の指針」を読んでおいてください。